



1 広域連携による観光の取り組み

中経連では、インバウンドの認知が低いことに悩む地域会員の声をうけ、中部国際空港、名古屋市、声のあがった地域の自治体など(岐阜県、愛知県、三重県、長野県観光機構、ツーリズムとよた)と連携し、2018年から広域プロモーションを実施してきた。活動の最終年度(3年目)を迎えた今回は、月間の平均利用者が約180万人にもおよぶ世界最大級の訪日専門メディア「japan-guide.com」と連携して作成した2本のプロモーション動画・記事を、11月と12月にそれぞれ公表した。

2 プロモーション動画・記事

(1) Seven great things to do in and around Nagoya

現代アートと自然の融合がフォトジェニックな佐久島(西尾市)、徳川家康と縁の深い松平郷(豊田市)など、名古屋市近郊に位置しながらインバウンドの来訪が少なかった観光地を、認知度の高い名古屋城本丸御殿などと組み合わせることで、エリア一帯の魅力として伝わるよう工夫して紹介している。

(2) Three great side-trips from Nagoya

日本の神秘的な世界観や壮大な自然の中でのアドベンチャーが体験できる、御嶽古道(王滝村)での滝行、五色ヶ原(高山市)でのトレッキングや、熊野古道伊勢路の松本峠や丸山千枚田(熊野市)など、名古屋の都心部観光とは対照的な魅力がインバウンドに伝わるよう工夫して紹介している。



佐久島アート「おひるねハウス」 ©japan-guide.com



滝行の様子 ©japan-guide.com



丸山千枚田 ©japan-guide.com

3 今後の活動

2021年1月に開催された中央日本交流・連携サミット(本誌6ページ参照)の中で、広域観光に関する議論で承認された、「中央日本総合観光機構の広域観光の司令塔としての機能強化に向けた支援、および産学官連携による観光産業の活性化に資する新たな取り組みの推進」を実現すべく、関係者と連携しながら取り組みの具体化を進めていく。